



卷之三

東筑摩塩尻教育会会长 清沢剛

一人ひとりが輝いてきました。未だに収束が見えない状況ですが、目の前の子どもたちの日々の成長のため、各校とも教職員が一丸となつて教育活動に邁進しているのです。

本年度は、過去二年間新型コロナ感染症拡大のため中止せざるを得なかつた東筑磨壱尻教育会総集会を、多くの先生方のご協力により実施することができました。感染状況が厳しい中、実施の可否にかなり議論を重ねての判断でした。感染拡大を恐れ中止することは簡単でしたが、少しでも前へ進むことを考え、時間短縮や座席指定などの感染対策をとりながら実施に踏み切りました。少なからずコロナの影響があり以前より参加者は少なかつたですが、会員発表では「学びを支える教師の支援のあり方を学びまし

校説を重ねた「自主研修の日」は年一回
夏休みに半日の開催を昨年度から実施し
てきました。多くの先生方が参加し、教
科だけの研修ではなくキャリアアップに
繋がったという声も聞かれ、充実した時
間をおくことができました。本年度の
研修にも期待を寄せています。昨年度か
ら信濃教育会と共に始まつた信州教師
塾Bでは、若手の先生方がご自身の職能
向上のため、積極的に参加して他校の先
生方と共に学ぶ姿もみられました。また、
本会事業の柱の一つである、各種研究委
員会もこれまでの小中連携委員会を三つ
の教育課題検討委員会に再編し、委員会
毎テーマに沿つて研究することとなりま
した。先生方の積極的な参加により、各
事業が実りある活動になることを願つて

東筑摩塙尻教育会では、教職員の職能向上、児童生徒の健全育成、地域の生涯学習の振興などを目的として諸事業を進めているところです。その中で、昨年度までの二年間において、あり方委員会で

の前に立つことを忘れてはならないと思
います。

今年度、東筑摩塩尻教育会では「自ら求め、共に磨きあう塩筑教育会」をテーマとして活動をスタートしています。これまでのコロナ禍で、改めて子どもたちと向き合って学べる素晴らしさを経験してきました。子どもと真摯に向き合い成長を願える教師でありたいのです。そして、塩筑教育の中で先輩方から受け継がれてきた「教育は人なり」の精神を大事に、先生方のつながりを大切にしながら、共に学び共に高めあいたいものです。先生方が、自らを高めていける教育会を共に創っていきましょう。（聖南中学校）

た。」「中学生の可能性が改めて分かつた。自分の指導を振り返るきっかけとなつた。」など、講演会では「人を惹きつける話し方を学ぶとともに、子どもに接する教員の立場を考えさせられた。」「外部の方の話を聴くことがなかなかないのでとても貴重な機会であつた。」など、多くの感想をいただきました。前に進んだことで先生方が得るものがあつたことを嬉しく感じました。

さて、学校現場では、子どもたちの学びを止めないための工夫がなされ、授業においては一人一台のタブレットを有効活用することで、「個別最適な学び」や「協働的な学び」をバランスよく行う工夫など、先生方が日々努力をされております。教師は、子どもにとつて最大の教育環境だと言われています。教師の力量によって、子どもの教育が大きく左右されるこ

二九

特集

◆令和四年度 公益社団法人東筑摩塩尻教育会総集会

令和四年五月十四日(土) 塩尻市レザンホール

(桔梗小学校)



令和四年五月十四日(土)、塩尻市レザンホールにて、公益社団法人東筑摩塩尻教育会総集会が開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年、一昨年と中止になつていましたが、今年度は感染防止対策を十分に講じた上で三年ぶりに参集形式で開催することができました。多くの会員の方が集まり、総集会ができたことはとても良かつたと思います。

残念ながら「教科等研究会発足会」は感染防止のため書面開催となりました。

今年度の会員発表は、科学展委員会より「私たちの科学研究～探究の歩み～とそれを支えたもの」と題して、丘中学校科学部で顧問をされていた宮下和久先生と天文班・生物班だった生徒さんから、昨年度の実践を発表していただきました。斎藤花音さんより「江戸時代の太陽観測を復元する」圭表儀の観測の補助観測器具『景筐』の役割、生物班の研究成果から、上條章さんより「ヒラタケモの巣

の分布と環境条件」の発表をしていただきました。

講演会では、宮西達也氏より「子どもと本をつなぐ 大人の役割」についてご講演いただき、とても充実した会となりました。

会員の感想

宮西達也さんの講演を聞いて

有馬 光莉

宮西さんの絵本には、優しさや思ひやりがあり、キャラクター一人ひとりが一生懸命頑張る姿が描かれていきました。これは宮西さんがご自身の経験と理想を基に、取り入れたいと思つてゐる要素なのだと思います。そんな、子どものために心を込めて絵本を書いている宮西さんの講演で、とても励まされた言葉がありました。それは、「大人が一生懸命やることで、子どもはその姿に感動し、夢や理想を持つようになる。」という内容のものです。

子どもたちは、立派な言葉がけをしてあげられなければ、授業を楽しむ自分、子どもも掃除を頑張る自分、子どもの気持ちを親身になつて聞く自分の姿が、少しでも子どもたちの目に映つてくれていれば幸せだなと感じました。子どもたちの心

講演を聞いて

北澤 雅

を動かせる大人でいるために、自分も精一杯今の仕事に励んでいきたいです。

(桔梗小学校)

絵本の魅力にはまり、我が家では毎晩寝る前に必ず絵本の読み聞かせをしています。かわいらしい本やクスっと笑える本、心が温くなる本など、世の中には様々な魅力的な絵本がありますが、二年前、小学校二年生の息子が借りてきたある絵本を読み聞かせたところ、読み終わる頃息子がボロボロ涙を流していました。その本が宮西達也さんのティラノサウルスシリーズ「おまえうまそだな」です。

その時から家族で宮西達也さんの絵本にはまり、図書館で宮西さんの本を見かけようと借りてくるようになりました。そのようなこともあります。子どもたちは大人を見ていて、ましてや日々一緒に過ごしている担任が手を抜けば、当然子どもにも伝わってしまいます。子どもたちのために、また自分が後悔しないためにも、その時その時を一生懸命過ごしていきたいと思います。

二つ目は、「人は感動で動く」という言葉です。これまで振り返ると「〇〇しなさい」「ちゃんとやりなさい」ということばかり言つてきたような気がします。そんな言葉だけで子どもが動くはずがありません。口先だけで子どもを動かそうとしていた自分自身を改め、行動で子どもたちに示すことができるようになります。

最後にたくさんの読み聞かせをしていただき、大変有意義な時間となりました。

(宗賀小学校)

総集会講演会感想

大塚 春美

子どもの頃よりも、大人になつた今、

絵本の読み聞かせをしていました。最初は少し驚きましたが、あつという間に引き込まれ、会場の先生方を巻き込んで絵本の読み聞かせも、より絵本の内容がカラフルになつて、声を出して笑つたり、感動したりする時間を過ごすことができました。宮西さんのお話の中に「やさしさと思いやりのある本をつくろうといつも思つていて」「どのキャラクターも一生懸命生きている」という言葉があり、昔息子が初めて絵本を読んで流した涙は、悲しいだけじゃない相手を思いやる深い愛情をなんとなく感じたからなんだと、この時腑に落ちました。絵本に出てくるティラノサウルスのように、私もたっぷりの愛情をもつて家族や生徒たちに接したいと思ふようになりました。

宮西さんの絵本に出てくるキャラクターたちは、「大好きだよ」「愛してるよ」と相手にストレートに伝えていました。普段なかなか言わない言葉ですが、たまには

社

- ◎青森隆俊 ○井出宏幸 語
 - ・日本国語教育学会長野地区研究集会への参加
 - ・夏期研修会への参加
 - ・松本支部との共催授業研究会の開催
 - ・学会誌「信州国語教育」「会報」の発行 等
 - 会
 - 千村哲朗 ○石巻惣之介
 - ・夏期研修会

教科等研究会

- 佐々木英明(麻績少) ○森村忍(櫛川小中)
根岸徹矢(広丘小) 細川光佑多(筑北小)
二 県外視察・自主研究

二 縣外視察・自主研究

- 吉理
丘中
昌博(麻績小)
也(広丘小)
信子(塩尻西小)

理
科

- 松本支部との合同研修会等
○戸辺 修 ○金子和弘
授業研究委員会
実験講習委員会
研修委員会
H.P.運営委員会
等

特別活動

- 佐倉 俊 ○堀内紀子

・自主研修の日

・松本市道徳教育研究幹事会夏期研修会

・長野県道徳教育学会 上伊那研究大会等

特別活動

○清沢 剛 ○小澤雅子

・自主研修の日 等

哲学（コスモスの会）

○折橋善文 ○折橋善文

・自主研修の日 等

道德

- 道徳・自主研修の日等
松塩筑合同研修会 情報教育

カウンセリング

- 特別活動**

 - ・ ◎清沢 剛 ○小澤雅子
 - ・ 自主研修の日 等
 - ・ 長野県道徳教育学会 上伊那研究大会 等

哲学（コスモスの会）

 - ◎折橋善文 ○折橋善文
 - ・ 座禅会

・ 松本哲学同好会との合同読み合わせ会 等

文化財

 - ◎小林 真 ○小澤英明
 - ・ 自主研修の日 等

書写書道

 - ◎富田昭子 ○浦沢広一
 - ・ 自主研修の日

・ 県書写書道教育研究大会参加 など

学校園

 - ◎宮寄 聰 ○田中 亮
 - ・ 自主研修の日 等

保健

 - ◎中沢 寛 ○関 りえ
 - ・ 自主研修の日
 - ・ 第2回研修会 等

カウンセリング

 - ◎大池昌弘 ○可知貴彦
 - ・ 松本との合同研究会
 - ・ 自主研修の日



編集後記